

ガザミ 卵寄生菌類の特性およびふ化幼生のホルマリン浴による真菌症防止効果

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 浜崎, 活幸, 畑井, 喜司雄
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014415

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



ガザミ卵寄生菌類の特性およびふ化幼生のホルマリン浴による真菌症防止効果

浜崎活幸・畑井喜司雄

ガザミとノコギリガザミの卵に観察された寄生菌類をその外部形態にもとづいて7タイプに区分し、分類群との対応関係について考察した。寄生菌各タイプのガザミ卵への出現時期と飼育水温との間には明瞭な関係がみられ、病原性の強いタイプは水温が24°C以上を示す時期に優占した。また、真菌症防止対策として、ガザミふ化槽内でのホルマリン（濃度25ppm）浴を実施した結果、本剤の使用は幼生飼育水槽での真菌症発生を未然に防ぐ上で極めて有効であると考えられた。

栽培技研, 22(2), 99-108, 1994